

## 短期研修に参加して

総合管理学部総合管理学科 1年 藺牟田安奈

9月3日から9月10日の一週間、祥明大學校短期研修に参加した。私にとって初めての海外。様々なことを感じ、知り、多くを学ぶことができた。嬉しかったこと、楽しかったこともたくさんあったが、やはり驚いたことが一番多かった。驚いたことを中心に研修を振り返ってみようと思う。

まず、私たちがお世話になった熊本県立大学の姉妹校、祥明大学を紹介する。



一番新しい校舎



デザイン学部の校舎



運動などする場所

大学の敷地はかなり広く（本人たちは「うちの大学は狭いよ」と言っていた）、教育環境も充実していた。また三枚目の写真の場所ではこの日、クラス対抗のサッカーやキックベースが行われていた。学食の中には売店やビリヤード場、眼鏡屋、美容院まで完備されていた。寮もおしゃれだった。欧米を意識していると感じる所が多々あった。学食も職員用・生徒用と二ヶ所あるが、どちらを誰が利用してもいい。ちなみにおいしいのは職員用の学食らしい。これだけ広いので、教室数もちろん多く、休憩室などもたくさんあった。

授業は3月から前期が始まり、7月から8月が夏休み、9月から後期開始だと聞いた。

日本でいうセンター試験にあたるものは、システム的にはセンター試験と同じように行われるが、日本のように2次試験はなく、テストの結果を送るだけらしい（自己採点ではなく、正式な結果がわかる）。試験を受けるのは11月で、12月末に大学へ結果を送り、1月には合格発表という流れだ。

ホストシスターの子に「テストを受けるまでは全然寝てなかったでしょ？」と言われたのが衝撃的だった（私は「ううん、普通に寝てた」とは言えなかった）。この他にも、祥明大学のみなさんの日本語のうまさなどからも韓国の勉強に対する熱心さがうかがえた。

祥明大学に関する事だけでも驚いたことが多すぎだが、この他にもたくさん驚き、感動した。ここからは箇条書きで紹介する。

- ☆バス・地下鉄・タクシーの料金・服・食べ物・化粧品などなにもかも物価が低いこと
- ☆交通機関内外での自由加減（バスの中ではとにかく座る、道行く車は運転が荒く線からもはみでているなど）
- ☆ソウル近郊や様々な機器がハイテクノロジーで想像以上に都会であること



ソウル中心



東大門



コールドストーン



31





江南（棒がすごい）

☆アパート（日本でいうマンション）がものすごく多いこと  
そして、一部屋一部屋がとても広い  
また基本的に各家庭に湯船はなく、シャワーだけである（でも2つあったりする）

☆食事の際には必ずキムチが出てきて、料理一つ一つの量が多いこと、



↑ジャージャー麺・チャンポン（辛い）、それ以外はサービス



↑よくハサミで食材を切る



↑キウイドレッシング

これら以外にも驚いたり、感動したりすることがたくさんあった。驚きの連続の中において多くの文化に触れることができ、韓国のこと・日本のことをもっと知るいい機会になった。韓国と日本は違うところも似ているところもいっぱいあって、それぞれにとってもいい国だと思った。韓国の人たちの優しさはものすごいものだったので、そういうところは日本人も見習うべきだと思う。この話は長くなるのでもうここではしないが、優しい心や

思いやりの気持ちは大切だ。私も人に優しくしたいと思った。この気持ちを忘れない。

一週間の研修で得たものは大きかった。今後、さまざまな場面でこの経験を活かしていくことができると思う。今回は祥明大学のみなさんが積極的に日本語を話してくれたが、私もこれからしっかり勉強していつかは韓国語でみんなと話せるようになりたい。